

警察功勞記章は警察賞典規則に依り賞典を受けたる警察官吏又は消防官吏にして功勞拔群一般の勲績たるものにこれを付與する。
警察功績章は警察賞典規則に依り賞典を受けたる者（部外者を含む）にして功勞時に顯著なるものにこれを付與する。
賞状は右に述ぶる功勞ありたる團體に對してこれを付與する。
警察功勞章は廳府廳長官の具申に依つて内務大臣これを付與する。
警察功勞記章及警察功績章はこれを右助に佩ぶるものとし、警察官吏及消防官吏制服着用の際に在つては常時これを佩ぶるものとする。
右警察功勞章制度の創設に關し新に勲章に對し警察賞典行賞の途を拓くと共に高等官たる警察官吏又は消防官吏等に對しても警察賞典を行ひ得ることとされたのである。



秘

警察局事務發甲第一四二號

昭和十八年七月二日

内務省 警察局長
内務省 防空局長

各廳府廳長官 殿

警察、消防官吏等ノ警備、防空訓練實施ニ關スル件

昭和十八年度防空教育訓練施行ニ關シテハ本年四月二十三日付内務大臣ヨリ命令アリ其ノ細部ニ關シ更ニ同日付通牒セル處ナルガ從來警察、消防官吏ハ專ラ民間ノ防空訓練ヲ其ノ情況外ニ在リテ指導スル位置ニアリ又内部ニ於テモ召集、應援、警備、防空等ノ訓練ガ相互ニ關聯ナク個別的ニ行ハレ來レル態在リ如斯ハ基礎的ニ指導教育ノ徹底ヲ期スルガ爲ニ已ムヲ得ザルニ出ヅルモノナルベシト雖モ空襲等ノ非常事態下ニ於ケル

實戰下格闘タルコト極メテ遠シト謂ハザルベカラズ想以テ之ヲシテハ多
種多様ノ事態同時ニ勃發スルガ故ニ凡有機關ガ豫定サレタル任務ヲ一齊
ニ遂行スルヲ要シ之ヲ誤マレバ被害ヲ不測ニ擴大スルコト言フ俟タザル
所ナルヲ以テ今後訓練ノ實施ニ際リテハ從來ノ方式ニ泥ムコトナク凡有
角度ヨリ綜合的ニ判斷シ眞ニ實戰的ナラシムル様努メ特ニ左記事項御留
意相成度

記

一、空襲下警察、消防幹部六次ノ任務ヲ明確ニシ之ニ即スル訓練ヲ行フ
コト
空襲下準備、防犯活動ノ基幹タルベキ警察、消防幹部ハ警備、防空
機關ノ訓練中基幹的業務別訓練乃至初期ノ訓練實施ニ際シ自ラ現
場ニ臨ミ局部的指導ヲ行フコトハ必要ノコトナルモ實際空襲アリタ
ル際ハ管轄地域内全般ノ狀況ニ基ク綜合判斷ヲ爲シ内外關係機關ト
連絡シ急速ニ全般防犯治安對策ノ大綱ヲ確立ノ上部下ヲ指揮スル
コトヨリ重要ナル任務ナリト認メラルルヲ以テ今後訓練中綜合訓

練實施ニ際シテハ必ラズ本來ノ任務ニ從ヒ情況中ノ一員トナリテ
之ニ參加スルコト

二、警備、防空ノ訓練ヲ同時ニ且有機的行フコト

從來警察ハ民間ニ對スル防空指導ニ急ニシテ警察自體ノ警備的訓
練ヲ著シク閑却シ來レル際アルヲ以テ今後常ニ警備、防空双方ノ
重點ニ立チ兩者ヲ有機的ニ連繫シ和シ警備下最大ノ威力ヲ發揮シ
得ル様同時ニ綜合的訓練ヲ行フコト

三、警備、防空其ノ他各機關ノ連絡訓練ヲ行フコト

空襲下關係各機關ノ緊密敏活ナル連絡ノ必要ナルコトハ言フ俟ク
ザル所ナルモ從來動モスレバ之ガ訓練ヲ怠リ來レル情況ニアルヲ
以テ今後府區、警察、消防署、地方事務所、市町村、運輸、交通、通
信、電氣、瓦斯、水道等ノ指令機關、食糧等ノ配給機關ノ相互的
系統的ナル連絡指揮ノ圖上訓練乃至綜合訓練ヲ必ラズ實施スルコ
ト

四、警察官吏ノ擔當任務ヲ再確認セシムルコト

大日本帝國政府

巡查ニ對スル訓令比較表

樺太廳訓令	內務省訓令	備 考
樺太廳巡查採用規則	巡查採用規則	内容概不同一
	巡查採用規則ノ特例ニ關スル件	樺太ニ於テハ附則中ニ規定ス
警察官練習所規程	警察官吏敎養規程	練習所、組織、學務、試驗等ニ關スル規定ヲ設ケアリ(内地ノ施行規則ニ相當ス)
警察考課表規程	警察考課表規程	内容同一
	巡查配置及勤務概則	(共通)
	警部補派出ニ關スル件	
警部派出所及警部補派出所ニ關スル件		
樺太廳警察官吏武器任用規程	警察官吏武器使用規程	
巡查休暇規則	巡查消防手休暇規則	第八條乃至第十九條 取扱手續ヲ定ム他ハ同一
警察官吏服裝規則	巡查服裝規則	警察官及消防員服裝規則ノ一本ニ規定ス
樺太廳警察操典	警察操典	

巡査兵ノ他非常事發時ニ於ケル警察署長及第一級警察官吏ノ
 任務ハ警察本來ノ職任ノ激増以外ニ食糧乃至衣料品ノ非常配給、
 積災者ニ對スル各種ノ證明其ノ他ノ業務裁減スル狀態ニ處カレ而
 之等業務遂行ノ適否ハ直ニ全般ノ治安ニ關係スルヲ以テ平素ヨ
 リ絶ヘズ其ノ擔任ニ係ル業務ノ種類、内容及範圍並ニ之等ガ相續
 續シテ起リ得ル各種ノ情況等ヲ檢點シ第一級警察官吏並ニ補助機
 關ノ勤務活用及之等ノ指揮、指導ノ具體的方法ニ付自信ヲ以テ充
 タ其ノ職任ヲ全フシ得ル如ク應ニ擔當任務ヲ再認識セシムルコト